

最新 総合大地図

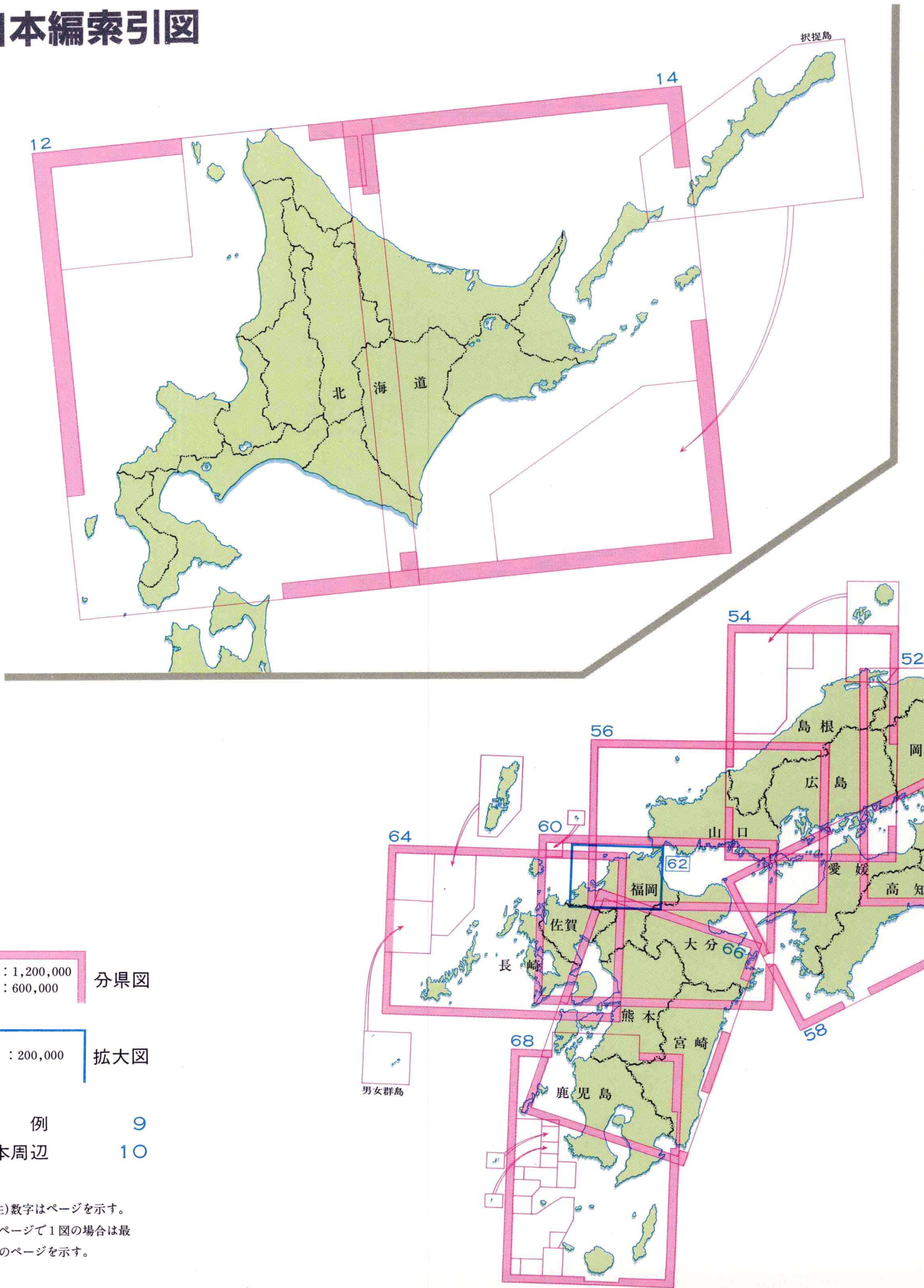


最新 総合大地図



小学館

日本編索引図



中扉—主題図編—〔資料一覧〕

日本の気候	129
日本の地質	130
日本の土地利用	132
日本の産業	134
日本の航路・航空路	136
世界の気候	137
世界の地勢	138
世界の植生	140
世界の火山・地震	142
世界の宗教・言語	144
都道府県の人口・面積	145
日本のおもな島	146
日本のおもな山	147
日本のおもな湖沼	148
日本のおもな河川	149
日本のおもな地形	150
世界各国の面積と人口	152
世界のおもな島と山	154
世界のおもな湖沼と河川	156
世界のおもな地形	158
日本の位置	160

中扉—都市図・観光図(日本)編—

都市図凡例 ■ 札幌	161
仙台 ■ 川崎	162
横浜	163
東京	164
名古屋	166
大阪	167
京都	168
神戸 ■ 広島 ■ 北九州	170
福岡	172
鎌倉 ■ 奈良	173
観光図凡例 ■ 大雪山	174
知床 ■ 阿寒	175
支笏・洞爺	176
十和田 ■ 八幡平	177

出羽三山 ■ 蔵王 ■ 磐梯	178
上信越高原 ■ 妙高山	179
日光 ■ 秩父・多摩	180
伊豆	181
富士山	182
大島 ■ 新島 ■ 箱根	183
北アルプス	184
中央アルプス ■ 乗鞍岳 ■ 南アルプス	185
能登	186
吉野・熊野 ■ 伊勢・志摩	187
宍道湖 ■ 秋吉台 ■ 大山	188
小豆島 ■ 足摺	189
雲仙・天草	190
九重・阿蘇	191
霧島 ■ 桜島 ■ 開聞岳 ■ 日南海岸	192

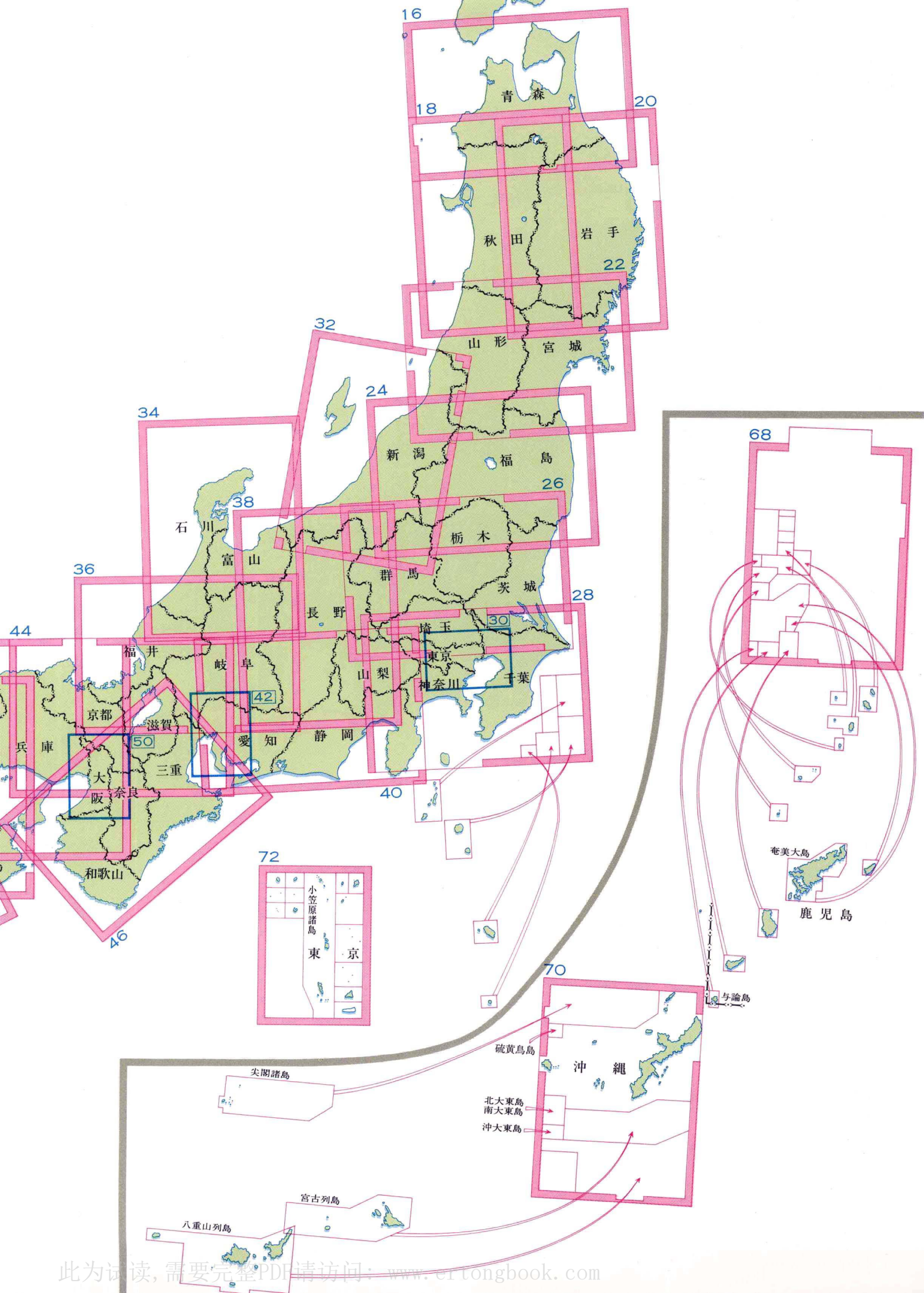
中扉—都市図・観光図(世界)編—

凡例 ■ ソウル	193
ペキン(北京)	194
タイペイ(台北) ■ ホンコン(香港) ■ マカオ	195
マニラ ■ バンコク ■ シンガポール ■ デリー	196
エベレスト山周辺	197
ロンドン	198
パリ	199
ストックホルム ■ コペンハーゲン ■ アムステルダム	200
ベルリン	201
ジュネーブ ■ ブリュッセル ■ ウィーン	202
ローマ ■ バチカン	203
ミラノ ■ マドリッド ■ アルハンブラ ■ ジブラルタル	204
アテネ ■ エーゲ海	205
ワルシャワ ■ プラハ ■ ブダペスト ■ ソフィア	206
モスクワ	207

ナイル川 ■ カイロ ■ アルジェ ■ カサブランカ	208
ナイロビ周辺 ■ ケープタウン ■ ナイロビ	209
バンクーバー ■ モントリオール ■ バンフ周辺	210
ニューヨーク	211
ワシントン ■ サンフランシスコ ■ ロサンゼルス	212
メキシコ ■ ティティカカ湖周辺	213
リオデジャネイロ ■ サンティアゴ ■ ブエノスアイレス	214
シドニー ■ キャンベラ ■ メルボルン ■ ウェリントン ■ クック山	215
ホノルル ■ ハワイ諸島 ■ グアム ■ タヒチ ■ ニューカレドニア ■ ヌーメア	216

中扉—索引—〔索引の構成〕

日本編索引	217
世界編一般索引	273
中国・朝鮮地名索引	318



世界編索引図



一般図(縮尺による図郭区分)

1 : 20,000,000
1 : 16,000,000
1 : 13,000,000

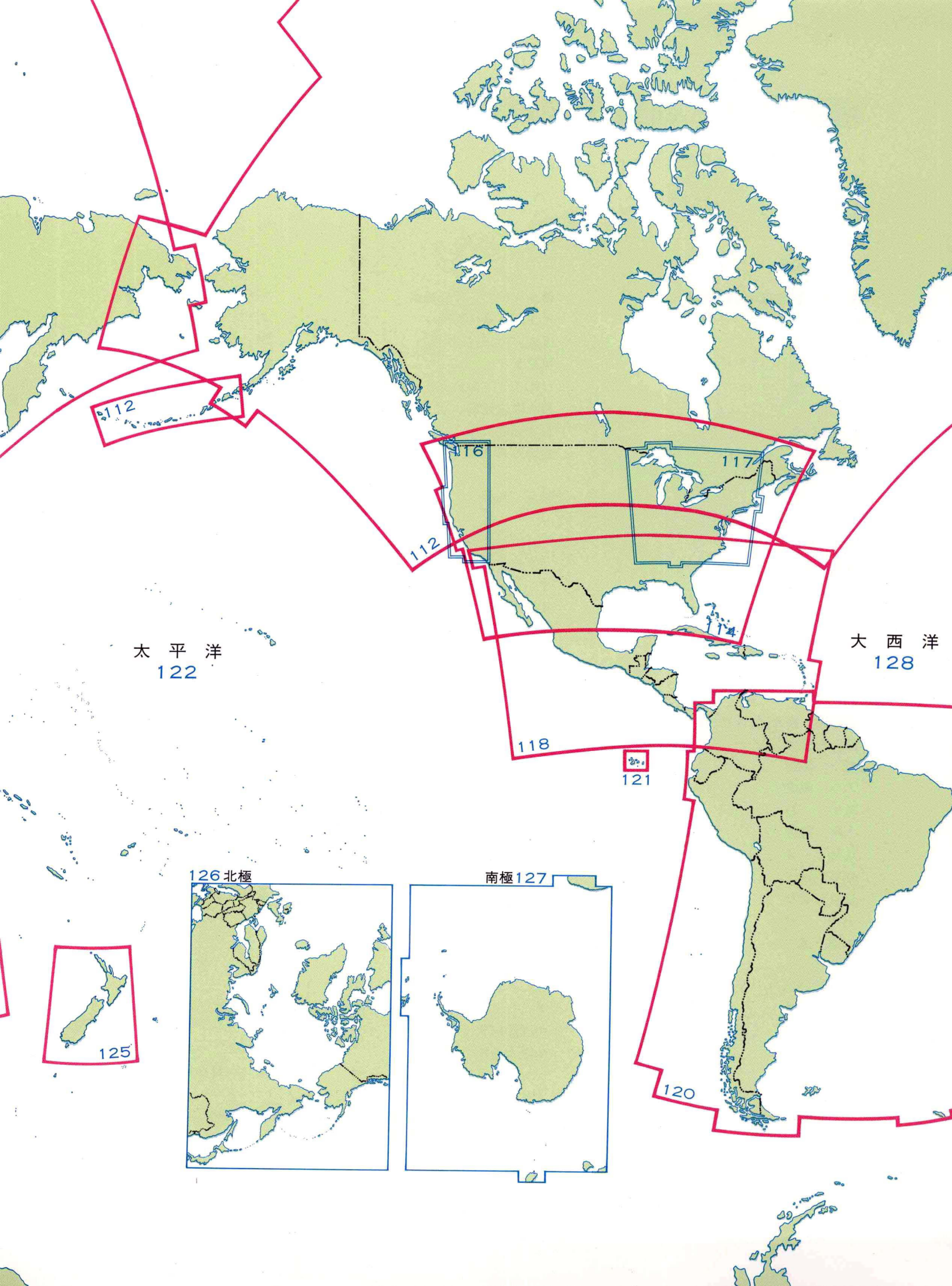
1 : 4,500,000
1 : 4,000,000
その他

1 : 8,000,000
1 : 6,500,000

(注) 数字はページを示す。2, 3 ページで1図の場合は最初のページを示す。

凡 例

世界全図・時刻帯図	73
ユーラシア(地勢)	74
ヨーロッパ(地勢)	76
アフリカ(地勢)	92
南北アメリカ(地勢)	106
	110



編集委員・執筆・取材協力・資料提供・写真提供

日本編・世界編・主題図編

■編集委員

金沢 敬
坂戸 直輝
山口恵一郎

■原稿執筆

秋山 健一
跡部 治
石井 幸吉
河津 和幸
須長 博明
富樫 慶夫
根本 寿男
橋本 良一
花岡 正

原田 豊

都市図・観光図(世界)編

■取材協力

石川 好美
天寺 健夫
吉良 忍
小町 武生
佐藤 登
佐野 雅治
龍見 英利
田中 武
内藤 道夫
中村 太一
長谷川勝則
服部 守
益子 睦
村重 繁
森 公夫
柳田圭三郎
山崎 繁男
山崎 稔久
山之内尚武
吉田 晴男

●取材協力・資料提供

アジア経済研究所
環境庁
建設省
日本イラン協会
日本鉄道建設公団
日本道路公団
各地方自治体

神沼 克伊

アルゼンチン大使館
イタリア政府観光局
インド政府観光局
英国政府観光庁
エジプト大使館
オーストラリア政府観光局
オーストリア観光局
オランダ国立観光協会

カナダ大使館
韓国観光公社
ギリシア政府観光局
グアム観光局
ケニア政府観光局
シンガポール政府観光局
スイス政府観光局
スウェーデン大使館
スペイン政府観光局
ソ連政府観光局
タイ政府観光庁
台湾観光協会
タヒチ政府観光開発局
チェコスロバキア大使館
中国国際旅行社
中国大使館
デンマーク政府観光局
ドイツ観光局
ニュージーランド政府観光局
ハワイ観光局
ハンガリー国営旅行社
フィリピン政府観光局

ブラジル大使館
フランス政府観光局
ブルガリア大使館
米国商務省観光局
ベルギー政府観光局
ポーランド政府観光局
香港観光協会
マカオ観光局
南アフリカ政府観光公社
メキシコ政府観光審議会
モロッコ大使館
ローマ法王庁大使館

●写真提供

佐原市教育委員会

●装丁

坂野 豊

●編集協力

(株)表現研究所

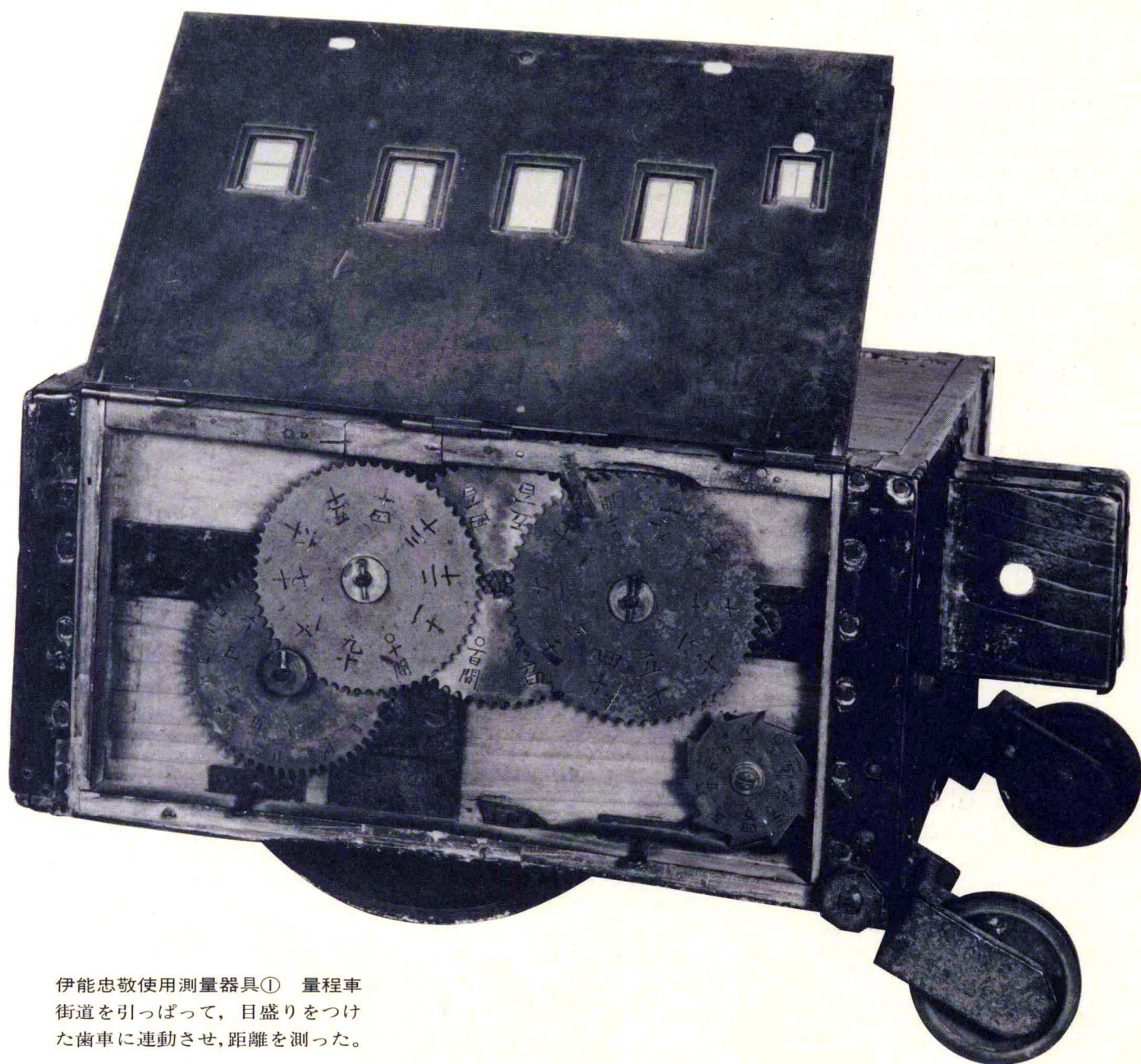
●製図その他

池田 弘
小野寺 毅
楠 正鋭
高木 守
永吉 忠夫
平林 邦史
広木 勝男
三好 冽

(株)テー・アール・シー
東京カートグラフィック株式会社
(有)ニューマップ
北斗測量株式会社 地図部

(株)昭和写真製版所 写植部

日本編



伊能忠敬使用測量器具① 量程車
街道を引っぱって、目盛りをつけた
歯車に連動させ、距離を測った。

凡例解説

交通

道路 高速自動車国道、有料道路は昭和59年4月までに開通した区間を、20万分の1地勢図、建設省資料によって図示した。

一般国道、主要地方道、一般都道府県道は20万分の1地勢図、各都道府県管内図によって図示した。その他の道路は、主要道路の連絡道、著名な登山道などを採用した。

鉄道 鉄道路線は、20万分の1地勢図、鉄道建設公団資料、各民営鉄道会社資料によって図示した。貨物専用線は、原則として省略してある。また、地下鉄路線、路面鉄道路線は、地図が小縮尺で表示が困難なため、省略した。

モノレールは、民営鉄道として図示した。特殊軌道は、ケーブルカー、ロープウェーなどを示し、観光的に重要なものはできるかぎり採用した。

国有鉄道の駅は、起終点、分岐点、特急停車駅を、民営鉄道の駅は、起終点、分岐点を記号で示し、駅名をできるかぎり表示した。新幹線の駅はすべて採用した。

航路 一般旅客の定期船および国鉄航路と、フェリーとに区別し、船会社、最新版時刻表などの資料と、海図、小型船用航路の手引きなどによって図示してある。

国鉄航路は一般航路と同じ記号で図示し、その航路名を表示してある。また、国鉄航路で、往路と復路が異なる場合は、矢印でその方向を示した。

境界

行政境界 各境界は、20万分の1地勢図によって図示した。変更があるものは、官報、各自治体発行資料、現地調査によって修正した。都道府県名、支庁名、郡名は、その示す地域のほぼ中央に表示した。都府県名は、固有名称部分のみを注記した。

旧国界 20万分の1地勢図によって図示した。行政境界と一致する場合は、両境界を交互に示した。

国立・国定公園界 境界は環境庁資料より転写して図示した。

(注)道路、鉄道、航路、境界は、できるかぎり切らないようにつとめているが、地名と重なる場合、やむをえずこれを切っている。

行政

人口集中地区 総理府統計局編集の『我が国の人口集中地区』(昭和52年)による。

市・町・村 記号は役所、役場の位置に表示し、名称は固有名詞部分のみを注記した。

町・村役場の所在する集落名と町・村名が異なる場合、その集落名を()で示した。

集落 交通の要所、著名な観光地への基点、歴史的・地域的に特徴のある地名などを原則として採用した。

記号

灯台 光達距離(灯台の光がとどく距離)が15海里以上のものを、海図、灯台表を参考にして図示した。

発電所 原子力・地熱発電所はすべて、火力・火力発電所は出力の大きいものを採用した。種別は記号の色によって示した。

ダム 原則として堤高80メートル以上、または有効貯水量1000万トン以上のものを採用し、記号と名称で表示した。

港湾 港湾法の分類にしたがって、特定重要港湾・重要港湾・地方港湾(小規模なものは一部省略してある)・避難港に区分し、運輸省港湾局および各都道府県の資料によって図示した。

漁港 漁港法の分類による、第3種漁港(利用範囲の全国的なもの)・第4種漁港(離島その他僻地にあって漁場の開発または漁船の避難上とくに必要なもの)を水産庁および各都道府県の資料によって図示した。

空港 旅客営業中の空港を採用し、記号と名称で表示した。

ロラン局・デッカ局 船舶が海上で位置を測定するために、電波を発射する施設で、灯台表によって図示してある。

鉱山 従業員100人以上の鉱山を採用して、記号、名称、おもな鉱種名を表示した。

油田・ガス田 20万分の1地勢図に採用されているものを記号で示した。

海中公園 環境庁資料より転写し、記号と名称で表示した。

その他 観光的に著名なものを各記号で示し、原則として名称を表示してある。特別史跡・名勝・天然記念物は、すべて採用し、名称は赤色で示した。

陸部の地形

自然地名 自然地名の表記は、原則として『標準地名集』によった。そのため、とくに自然地域名称の一部には教科書の表記方式と異なるものがあるので注意されたい。

等高線 土地の起伏を示すため、等高線、段彩、ぼかし表現を併用している。等高線間隔は200メートル(主曲線)で、1000メートルごとに太くしている(計曲線)。また、平地の地形を示すため、補助曲線を破線で記入してある。凡例の計曲線、主曲線上の等高線数字は、例として示したものである。

峠・山 標高は、原則として2万5千分の1地形図から採用している。標高が不明な場合は、等高線から読みとるか、省略した。

島に近接した数字は、島の高さを示す。

火山 原則として地質調査所『日本の火山』によって表示してある。

水部の地形

自然地名 湾、海峡などの名称は『標準地名集』および海図により、また海溝、海盆などの名称は海の基本図・海図から採用した。

等深線 海底の起伏を示すため、等深線と段彩を併用している。等深線は主として20万分の1海の基本図から採用し、主曲線は100メートルと、200メートルからは200メートルごと、1000メートルからは1000メートルごとに記入した。水深の浅い部分、海底地形が複雑な部分は、補助曲線を破線で記入した。

水深点 堆・浅瀬などにはもっとも浅い水深を、海溝などにはもっとも深い水深を、海の基本図、海図を資料として表示した。

海流・潮流 海流は海洋中でほぼ一定の流速・方向をもった流れで、潮流は潮の満ち引きによる、海水の水平方向の周期的運動である。地域により、海図を資料として示した。

干満差 港の記号の近くに示してある数字は干満差を示す。この数値は大潮のときの平均低潮と平均高潮との海面の高さの差を示したもので、潮汐表を資料として表示した。

波の状態 海面が波立つ状態には急潮と波紋とがある。急潮は海面の凹凸や潮流の会合などにより、波紋は潮流の強いところで海底が凹凸しているため海水が上騰することにより生ずる。顕著なものを海図から図示した。

拡大図

道路 高速自動車国道のインターチェンジは、実形と記号の2つを併用して表示してある。実形で示したものは、最新版20万分の1地勢図に実形のあるものを採用した。

高速自動車国道と有料道路は同じ記号で採用した。そのため、有料道路にも道路名を注記した。

行政 都府県庁、区役所は、その所在する位置に記号で示した。

都府県名、区名は、原則としてその示す区域のほぼ中央に注記した。

鉄道 地下鉄は原則として採用していないが、地上部分の長大な路線は、できるかぎり図示した。また、地下部分との連絡は、トンネルの記号で示してある。

人口集中地区 分県図と同様に、総理府統計局編集の『我が国の人口集中地区』(昭和52年)によって図示した。

人口集中地区は原則として、人口密度の高い国勢調査調査区(人口密度1平方キロメートルあたり約4000人以上)が市区町村内で隣接して、人口5000人以上を有し、人口密度が1平方キロメートルあたり4000人以上となる地域を構成する場合、この地域を人口集中地区としている。広大な工場地域などが隣接している場合は、人口集中地区に含める。

政令指定都市は、人口集中地区をさらに区分して、住居地区〔住居の環境を保護するために定める地域〕、商業地区〔商業その他の業務の利便を増進するために定める地域〕、工業地区〔工業の利便を増進するために定める地域〕と、公園・緑地の4つに分類した。

記号 とくに観光の対象となるような施設、行事、名所旧跡、天然記念物に指定されている動・植物などを編集部で調査し、対象物がわかりやすいように、絵記号で示した。とくに著名なものについては、その名称も表示してある。

国民宿舎は、公営のもののみ記号で採用して、その名称を表示した。

サクラ・紅葉・花の名所 祭礼・年中行事については、観光好適期の季節または月を、く>で表示した。

シーバース 陸地から離れた水深の深い海上に大型船を係留するための施設で、海図によって表示した。

養殖・定置網 のり養殖・かき養殖などの養殖区域と、大数網・大謀網などの定置網を定置漁具一覧図によって図示した。

分 県 図

交 通

	トンネル	高速自動車国道
	インターチェンジ	有料道路
	一般国道	一般国道
	主要地方道	主要地方道
	一般都道府県道	一般都道府県道
	その他の道路	その他の道路
	新幹線	新幹線
	建設中の新幹線	建設中の新幹線
	国有鉄道	国有鉄道
	民営鉄道	民営鉄道
	特殊軌道	特殊軌道
	鉄道橋	鉄道橋
	フェリー航路	フェリー航路
	国鉄・一般航路	国鉄・一般航路

境 界

	外国界	外国界
	都道府県界	都道府県界
	支庁界	支庁界
	市郡界	市郡界
	町村界	町村界
	旧国界(都道府県界と一致する場合)	旧国界(都道府県界と一致する場合)
	旧国界(支庁界と一致する場合)	旧国界(支庁界と一致する場合)
	旧国界(市郡界と一致する場合)	旧国界(市郡界と一致する場合)
	旧国界(単独または町村界と一致する場合)	旧国界(単独または町村界と一致する場合)
	国立・国定公園界	国立・国定公園界

集落・行政区分

	人口集中地区	人口集中地区
	都道府県庁所在の都市	都道府県庁所在の都市
	市	市
	町	町
	村	村
	集落	集落

記 号

	神社・寺院	神社・寺院
	著名な施設	著名な施設
	陵墓	陵墓
	古城・城跡	古城・城跡
	灯台	灯台
	水力発電所	水力発電所
	火力・地熱発電所	火力・地熱発電所
	原子力発電所	原子力発電所
	ダム	ダム
	防波堤	防波堤
	特定重要港湾・重要港湾	特定重要港湾・重要港湾
	地方港湾・避難港	地方港湾・避難港
	特定第3種・第3種漁港	特定第3種・第3種漁港
	第4種漁港	第4種漁港
	空港	空港
	ロラン局・デッカ局	ロラン局・デッカ局
	鉱山	鉱山
	油田	油田
	ガス田	ガス田
	温泉	温泉
	特別史跡・名勝・天然記念物	特別史跡・名勝・天然記念物
	名所旧跡	名所旧跡
	海中公園	海中公園

陸部の地形

	等高線(計曲線)	等高線(計曲線)
	等高線(主曲線)	等高線(主曲線)
	0メートル等高線	0メートル等高線
	25メートル等高線	25メートル等高線
	50メートル等高線	50メートル等高線
	100メートル等高線	100メートル等高線
	がけ・岩	がけ・岩
	砂礫地	砂礫地
	湿地	湿地
	干潟	干潟
	峠	峠
	山	山
	火山	火山

水部の地形

	水涯線(海、湖沼)	水涯線(海、湖沼)
	等深線(主曲線)	等深線(主曲線)
	20メートル等深線	20メートル等深線
	50メートル等深線	50メートル等深線
	補助等深線	補助等深線
	河川・滝	河川・滝
	かれ川	かれ川
	用水路・排水路	用水路・排水路
	磯・岩礁	磯・岩礁
	水面標高(湖沼)	水面標高(湖沼)
	最深部水深	最深部水深
	水深点	水深点
	海流	海流
	潮流	潮流
	干満差	干満差
	波の状態(急潮・波紋)	波の状態(急潮・波紋)
	海底地形名	海底地形名

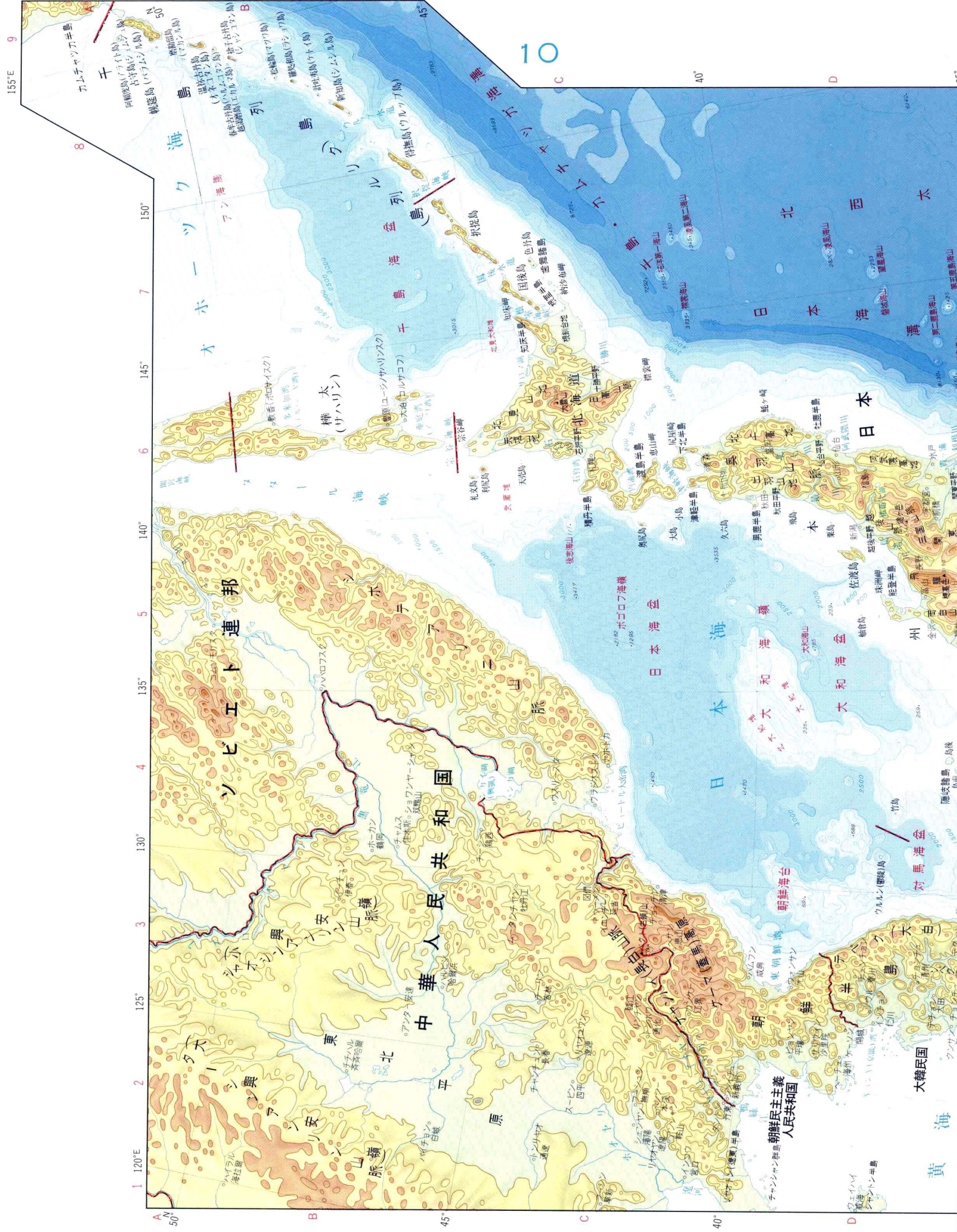
拡大図

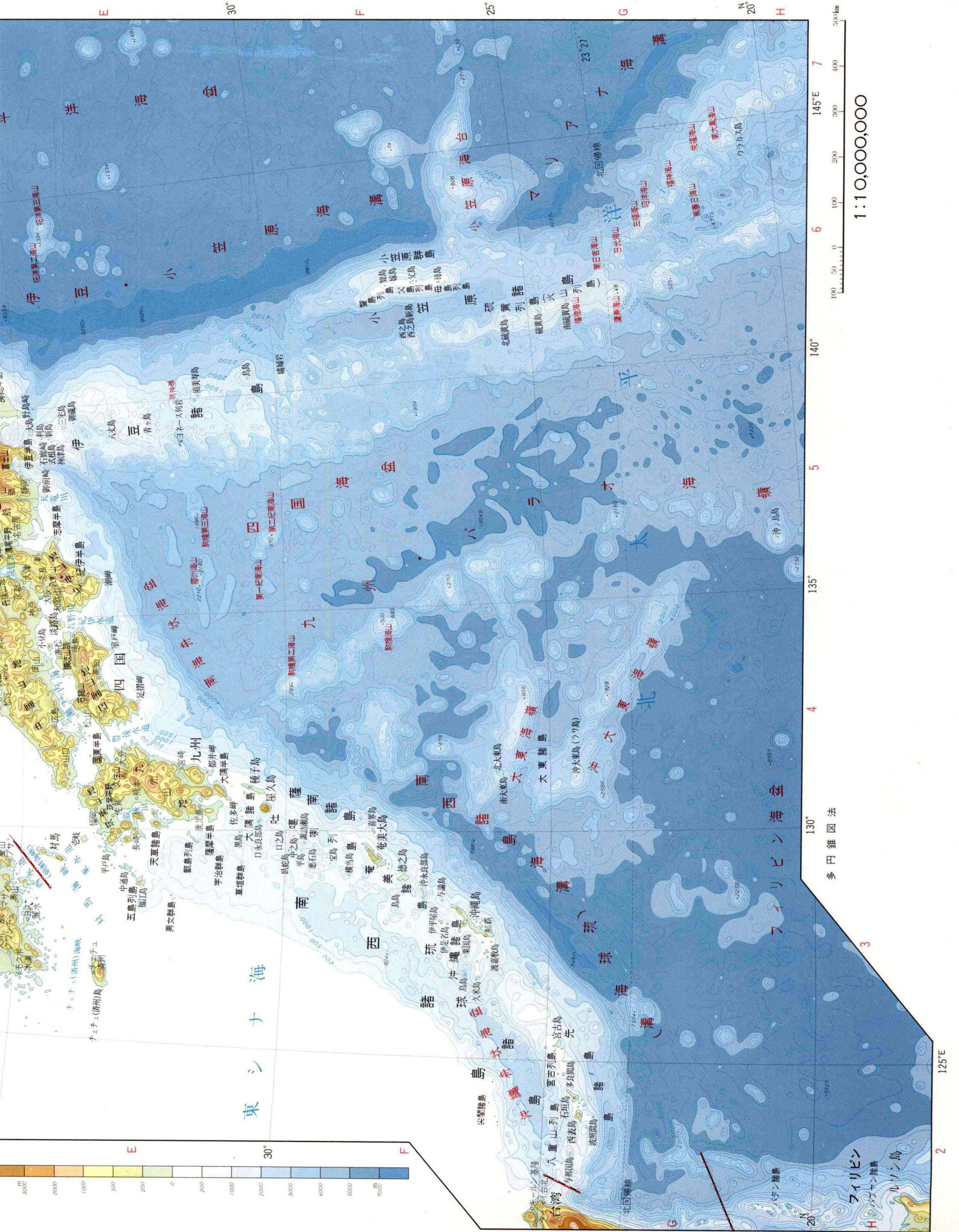
	インターチェンジ	高速自動車国道
	一般国道	一般国道
	主要地方道	主要地方道
	一般都道府県道	一般都道府県道
	その他の道路	その他の道路
	都府県	都府県
	区役所	区役所
	区界	区界
	集落	集落

	人口集中地区	人口集中地区
	政令指定都市の市街区分	政令指定都市の市街区分
	住居地区	住居地区
	商業地区	商業地区
	工業地区	工業地区
	公園・緑地	公園・緑地
	国民宿舎・国民休暇村	国民宿舎・国民休暇村
	墓・古戦場	墓・古戦場
	塔・高層建物	塔・高層建物
	展望地	展望地

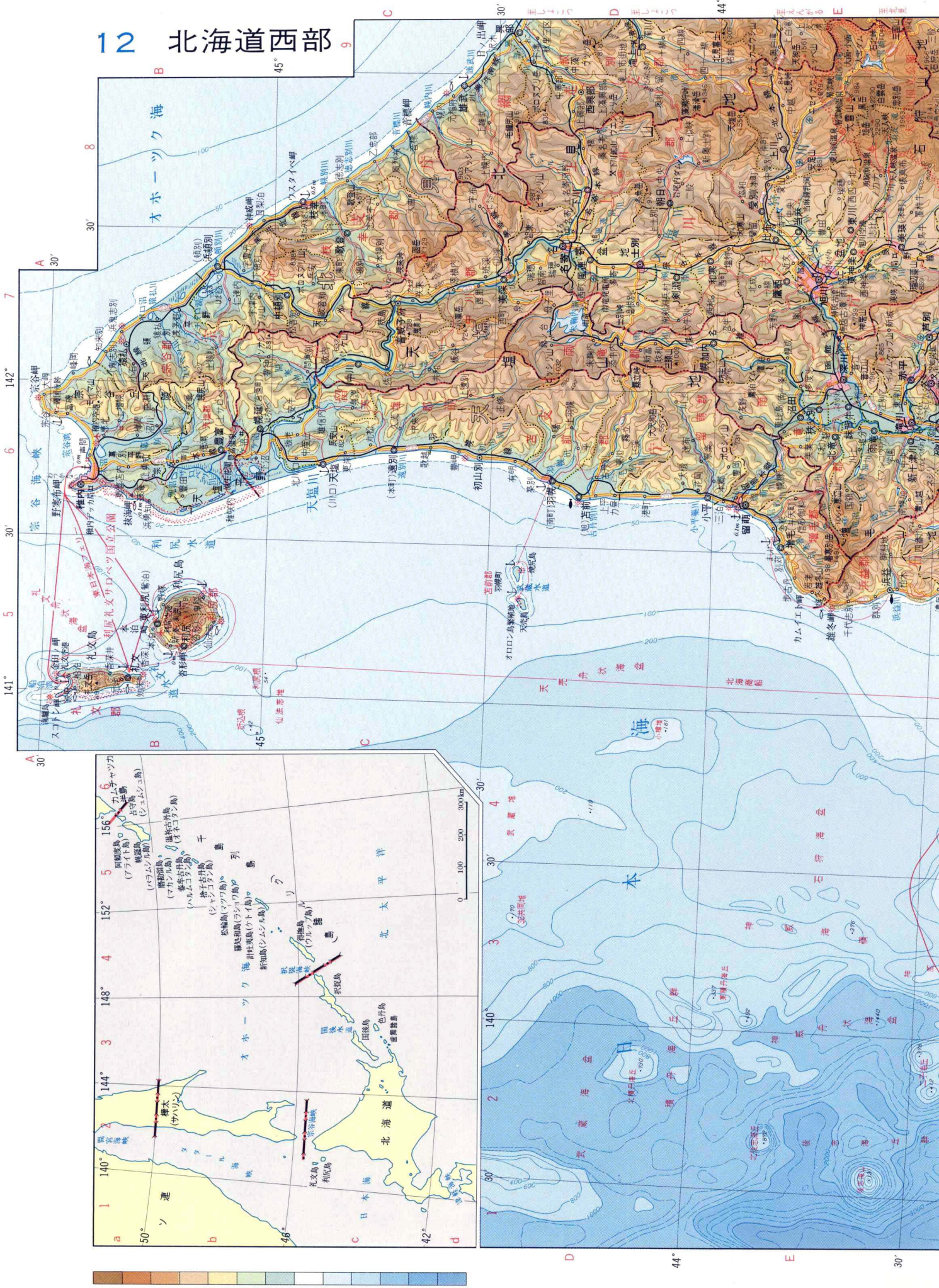
※この他は分県図凡例にしたがう

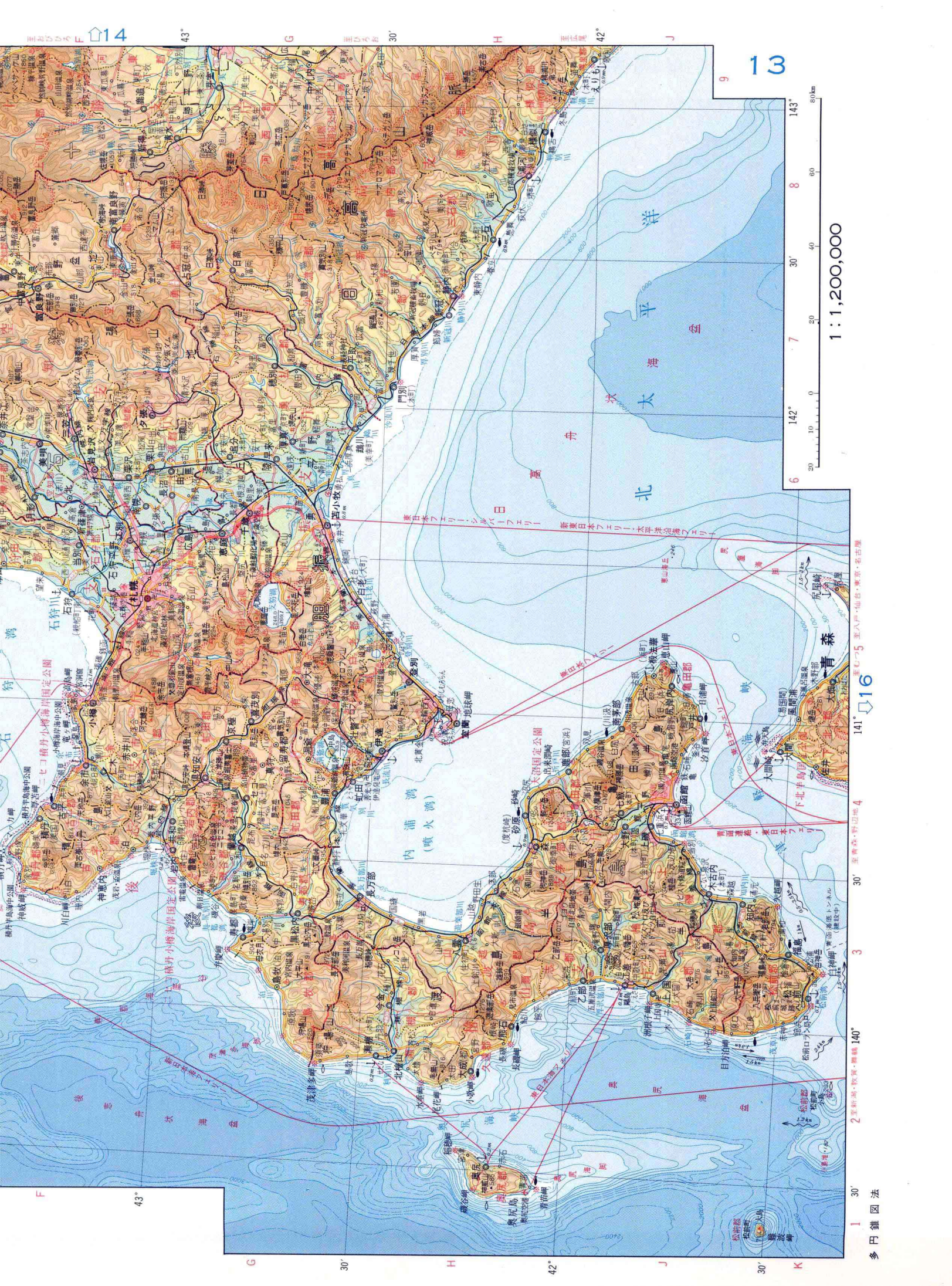
	サクラ・紅葉の名所	サクラ・紅葉の名所
	植物(花・樹木)の名所	植物(花・樹木)の名所
	主な鳥類・動物	主な鳥類・動物
	祭礼・年中行事	祭礼・年中行事
	釣り場・海水浴場	釣り場・海水浴場
	キャンプ場	キャンプ場
	渡し舟・川下り	渡し舟・川下り
	ヨットハーバー	ヨットハーバー
	シーバー	シーバー
	養殖・定置網の施設	養殖・定置網の施設
	5・10メートル等深線	5・10メートル等深線





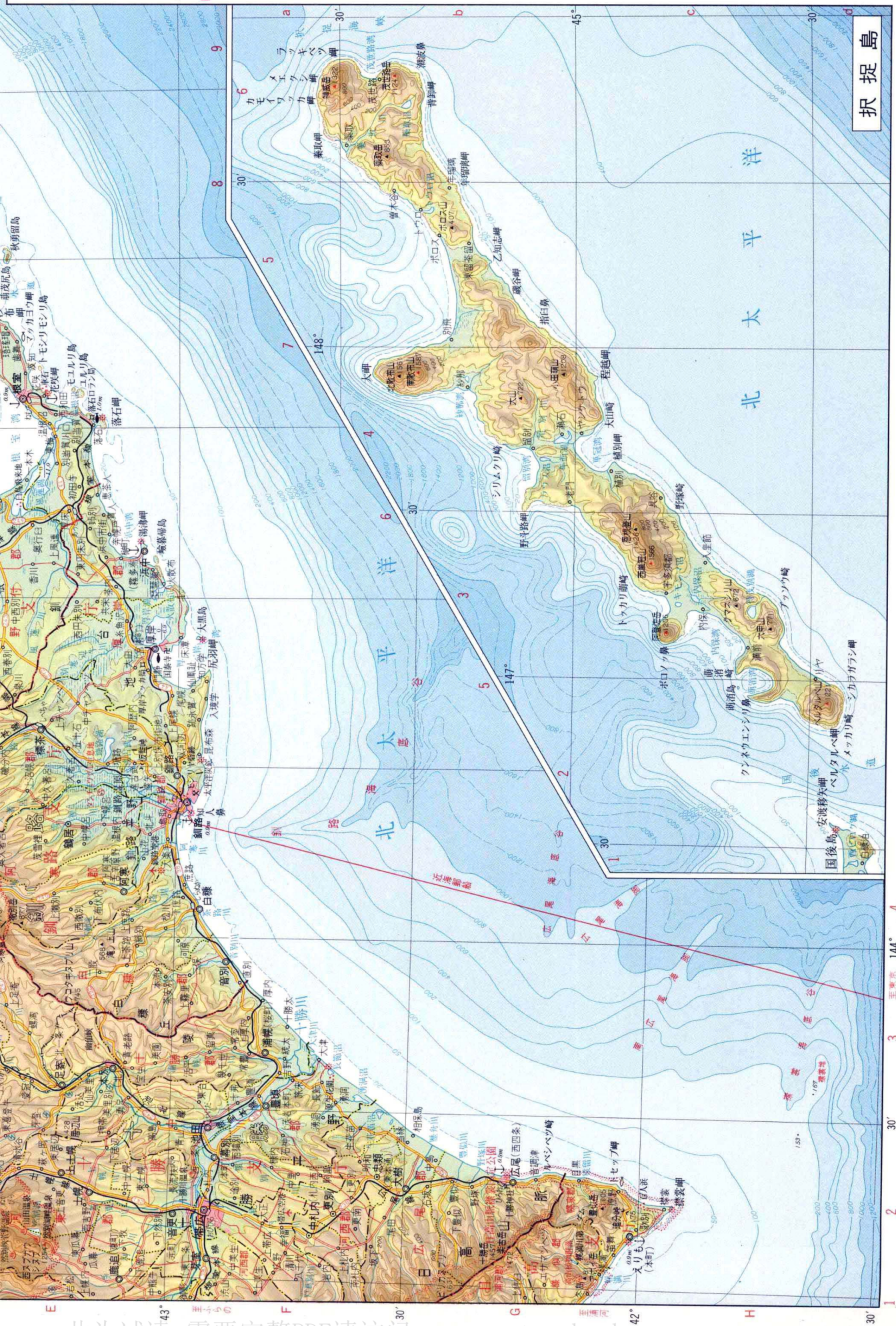
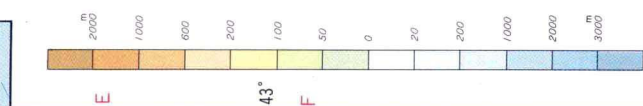
12 北海道西部





14 北海道東部





択捉島

多円錐図法

1:1,200,000